

Title	法学研究第三十一巻(昭和三十三年自一號至十二號) 總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1958
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.31, No.12 (1958. 12)
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19581215-0093">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19581215-0093</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 法學研究 第三十一卷

(昭和三十三年  
自一號至十二號)

## 總目次

### 論說

	號數	頁	通頁	執筆
兄弟姉妹の代襲相續について……………	一	一	一	田中實
——最近の福岡高裁判決をめぐり——				
會社の本店所在地の意義……………	一	二〇	二〇	米津昭子
ラテン・アメリカにおける革命について……………	一	三六	三六	賀川俊彦
——その發生要件と基本的特質——				
日本人のマス・コミュニケーション行動……………	二、三合併	一	八九	〔生〕田正輝
——受け手の重複について——				
フランス法における爭議權の構造……………	二、三合併	一七	一〇五	阿久澤龜夫
全體主義的獨裁の一般の特徴について……………	二、三合併	五八	一四六	奈良和重
田中内閣の對華外交(一・二完)……………	〔四〕九	一九一	〔二二〕三	中村菊男
非訟事件の定型分類……………	四	一四	二三六	石川明
長岡藩の寄場と松山(高梁)藩の徒刑所……………	五	一	三一	手塚豊
——西洋近代的自由刑の移入を問題として——				
傳聞法則における證據能力と證明力……………	五	一九	三二九	青柳文雄
ラジオに對するテレビジョンの影響……………	六	一	四〇五	生田正輝

アメリカ社會の變容(一・二完).....	七六	三六	四三〇	太田俊太郎
——特にニュー・デイルを中心として——		三八	五二六	
江西ソヴェト期における抗日反帝統一戦線の諸問題.....	七	一	四八九	石川忠雄
英國國家賠償の法理(二・完).....	七	一九	五〇七	金子芳雄
ドイツ史學と國家の問題.....	八	一	五八七	多田眞鋤
——F・マイネッケ、G・リッター等をめぐる試論——				
會社の負擔に歸すべき設立費用.....	八	三一	六一七	清水新
ルーズヴェルトの極東政策批判.....	九	一	六五九	内山正熊
社會構造の變動と權力移動の形態.....	十	一	七七五	堀村菊湛
——三重縣鳥羽市小濱町における實態調査(一)——				
直接行動論の標頭.....	十	三五	八〇九	中村勝範
——幸徳秋水の理論をめぐつて——				
請求補説.....	十一	一	八八七	伊東乾
——訴訟行為効力理論の適用例に及ぶ——				
政治意識と投票行為(投票決定の諸要因).....	十一	一五	九〇一	堀村菊湛
——三重縣鳥羽市小濱町における實態調査(二)——				
京漢鐵道罷業と陳獨秀.....	十二	一	一〇六一	石川忠雄
過去の法律關係と確認訴訟.....	十二	二〇	一〇八〇	石川明
<b>判 例 研 究</b>				
「民法」一 實子として出生届の出された表見相續人が善意の第三者となした 抵當權設定契約の効力.....	九	五二	七一〇	内池慶四郎

〔商法〕一 株主總會決議の存否……………	九	六〇	七一八	津水
〔勞働法〕一 出炭阻止ピケチングと威力業務妨害……………	九	七一	七二九	峯村光郎
〔商法〕二 假差押することを主たる目的としてなした隠れたる取立委任裏書 と訴訟信託、手形債權の裏書讓渡と保證債權の附從性……………	十	五九	八三三	高鳥正夫
〔商法〕三 先行裏書の欠缺とその補充……………	十	六六	八四〇	松岡和生
〔民法〕二 配偶者の精神病を原因とする離婚請求の方法……………	十一	六三	九四九	田中實
〔勞働法〕二 第二組合員に對し暴行を加えた第一組合員の解雇と懲戒解雇權の 濫用……………	十一	七二	九五八	川口實
〔行政法〕一 辭令交付なき身分替と任期期限満了による退職の效果等……………	十二	四二	一一〇二	金子芳雄
〔刑法〕一 森林贓物に關する罪と刑法第二五七條……………	十二	五〇	一一一〇	宮崎澄夫

資料

第九回犯罪生物學協會會議……………	一	六三	六三	宮澤浩一
J・H・ウィグモア博士關係文獻目錄……………	二、三合併	四四	二一九	平良
默阿彌の『散切物』に見えたる明治初年の法制(一・二・三)……………	四	五七	二七九	岩田正彦
オーエン・ラティモア教授著作目錄……………	五	四二	三五二	岩田正彦
受託者の權利……………	六	三〇	四〇二	石川忠雄
——ノルトによる管理權の構成——……………	六	四三	四〇二	石川忠雄
明治初年の東京府刑法……………	七	六二	四四九	内田中實
附・明治三年東京府行刑人員表……………	七	六二	五五〇	手塚豐

ドイツ語圏の各國大學における刑事法學關係研究者總覽……………八

新庄藩の徒刑……………九

フランス刑事訴訟法改正草案（一・二完）……………十九

最近日本における現代中國關係主要雜誌論文目錄（一・二完）……………十一

紹介と批評

清宮四郎著『憲法』（I）……………一

家永三郎・庄司吉之助共編『自由民權思想』……………一

今泉孝太郎著『農民法研究』……………二、三合併

——農地法の新しい解釋——

H・レフエレンツ著『兒童の犯罪性』……………二、三合併

——刑事學的・少年精神病學的研究——

E・V・シュナイダー著『産業社會學』……………二、三合併

中村菊男著『明治的人間像』……………二、三合併

——星亨と近代日本政治——

J・ヴィンケルマン編『M・ウェーバー・國家社會學』……………四

ジョルジュ・スピロオプロ著『團結權』……………四

J・ハザード著『ソ連の政治制度』……………五

H・B・メイヨ著『デモクラシーとマルクス主義』……………五

ライマン著『第一次労働黨内閣、一九二四年』……………六

森下菅根編『植木枝盛稿無天雜錄』……………六

卷末より

三九 宮澤浩一

七九 手塚 豊

七八 青柳文雄

七八 石川忠雄

七〇 田口精一

七六 向井 健

七六 宮崎 俊行

七八 宮澤 浩一

八六 十時 嚴周

九二 中村 勝範

七二 多田 眞鋤

七六 阿久澤 龜夫

五九 中澤 精次郎

六一 奈良 和重

七〇 伊藤 政寛

七三 向井 健

ガロ・ブラサ著『ラテン・アメリカにおけるデモクラシーの諸問題』……………	七	八二	五七〇	賀川俊彦
E・ベティヒャー著『集團的勞働法における武器の平等と平等の處遇』……………	八	四五	六三一	川口實
A・レイン・プール著『十二・三世紀の社會の義務』……………	八	四七	六三三	森岡敬一郎
峯村光郎譯『ザウワア・法哲學序說』……………	九	一〇二	七六〇	伊東乾
清水新著『會社法論』……………	九	一〇五	七六三	阪埜光男
中村菊男著『昭和政治史』……………	十	九二	八六六	石川忠雄
津田利治著『會社法の大意』(上)……………	十	九八	八七二	清水新
ジャン・デリュッペ著『賃借人の權利の法的性質、並びに物權と債權の區別』……………	十一	一一一	九九七	林脇トシ子
ジョン・W・チャップマン著『ルソーは全體主義者か自由主義者か』……………	十一	一一五	一〇〇一	奈良和重
青山道夫著『續近代家族法の研究』……………	十二	七八	一一三八	田中實
ハンスIIハインリッヒ・イェンエック著『現代の人間像と刑法改正』……………	十二	八一	一一四一	宮澤浩一

記事

今泉孝太郎教授・手塚豊教授學位請求論文審査要旨……………	五	六八	三七八	
創立百年記念特集記事……………				
慶應義塾大學法學部略史……………	十一	一二六	一〇一二	
創立百年記念論文集の發刊について……………	十一	一三〇	一〇一六	
法學部專任者一覽……………	十一	一三一	一〇一七	
『法學研究』既刊總目次一覽……………	十一	卷末	一〇二三	

受贈書主要文獻目錄

.....

二、  
三合  
一併  
四五六七八九  
十  
十一

八二〇〇五九七七七八九八  
七一五九二一七四〇八〇

一〇八七六五四三三一  
四〇七六三七八八〇八八  
七七九七八九一四二六〇